

<事後レポート>

ライオンケミカル(株)と地元の中学生による『ゆうわプロジェクト』
有田市発祥の蚊取り線香をPRして、地域を盛り上げる

地元の特産品を学ぶ体験学習と仕事体験の場を提供し、持続可能な社会づくりに貢献

家庭用殺虫剤、及び日用品の開発・製造・販売を手がけるライオンケミカル株式会社（本社：和歌山県有田市、代表取締役社長：田中原悟）は、創業130年以上の歴史により培った技術やノウハウをベースに「いつもの暮らしを豊かに」を合言葉に、蚊取り線香や消臭剤、除菌剤、洗浄剤、入浴剤などの日用品を開発・製造・販売しています。



企画内容について、同社社員とプランを打ち合わせ



積極的に販売に挑戦する生徒たち

ライオンケミカル株式会社は、地元・和歌山県有田市に根ざした企業であり、常に地域との関わりを大切にしています。その地域貢献活動の一環として、2022年に地元中学校の学びのプロジェクトに参画。2024年6月29日（土）、同社の社員と有田市立有和中学校の生徒たちが、プロジェクトの集大成として、有田市発祥の蚊取り線香のPR作戦を展開し、同社の蚊取り線香や虫よけスプレーなどを店舗の一角を借りて、PRしながら販売しました。当レポートでは、2年をかけて取り組んできたプロジェクトの内容をご報告いたします。イベントの様子は、ライオンケミカル株式会社の公式YouTubeのショート動画でご覧いただけます。

ライオンケミカル株式会社公式YouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/@LionChemical1885/shorts>

販売イベント当日の様子 https://youtube.com/shorts/2b1Yq_BTAMY?feature=share

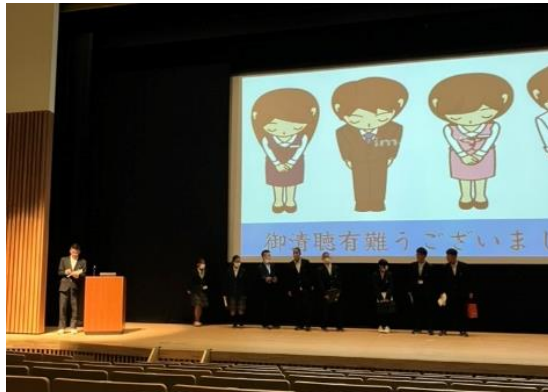
地域貢献活動の動画リスト

<https://youtube.com/playlist?list=PL9HCYP26GDAzvXrLZZgLiAqKKardx8wW0&si=B0Nqki9x5BmUQbjj>

■ 地域貢献を目指す中学生によるプロジェクト『ゆうわプロジェクト』



『未来の就職説明会』の様子



中学生の各チームがプラン内容を発表

和歌山県有田市立有和中学校は、有田市にある4つの中学校を統廃合（内、1校は2022年3月末をもって閉校）して2024年4月に開校しました。開校初年度に3年生となる生徒らは、3中学校合同で総合的な学習の時間を使って、生徒同士の融和を図ることを目的に、1年生の頃より積極的に交流を図り、学年集団作りや生徒個人の力を伸ばすことを目標として活動してきました。また、この活動は『ゆうわプロジェクト』と題して、自分の生活と地域の人々や事柄との関わりについて探究し、中学生として持続的で実現可能な有田市への貢献を考え、実践していくことを目指しています。地元の企業や団体がこれらの学びに協力しており、ライオンケミカルの参画は現在3年目です。

1年目となる2022年度では、生徒らが「ふるさと」と「自分」の将来について考察し、行動していけるよう、『未来の就職説明会』を開催。「地元の魅力」や「働く楽しさ」を伝える取り組みです。

2023年度では、「持続可能な有田市への地域貢献」を12のアクションプランにまとめ、参画した企業・団体とテーマごとに班に分かれてタッグを組み、実現可能なプランに練り上げました。

本年、2024年度は、プラン実現の年とし、昨年同様テーマごとに分かれて授業を進めてきました。

■ 目標は、ライオンケミカルの知名度アップと蚊取り線香の魅力伝えること

2023年から2024年にかけて、ライオンケミカル班が取り組んできたテーマは、『ライオンケミカルを日本の大企業に～蚊取り線香を世界に広めよう～』。同社の看板商品である蚊取り線香の認知度を上げることで、企業の発展と地元の特産品をPRすることに繋げていくという、有田市の産業全体を盛り上げるプランです。ゴールは生徒らが店頭に立ってお客様に販売し、蚊取り線香の魅力を伝えること。また、直接お客様の声を聴くことで、今後の同社の開発業務に役立てるということになりました。2023年度の取り組みは、ゴールに向けて必要な販促など具体的な企画を立案し、発表会を行うまででした。

■ 蚊取り線香のCM動画作成やPOP作成でPRイベントを盛り上げる



校内でCM動画の撮影に熱中する生徒たち



分担してPOPやポスターを作成



近隣施設への協力依頼も生徒たちが挑戦

ゴールとなるイベント開催は、2024年6月29日（土）、有和中学校近隣にある和歌山県を中心に展開するチェーンスーパー・オークワ箕島店のイベントスペースをお借りして、販売することに決定。当日までに全8回、週2日程行われる授業の中で、生徒らは各グループに分かれて、昨年度に企画した販促に必要な準備を行いました。

生徒らが行った販促活動

- ① 販売イベント告知の動画とポスターの制作
- ② 告知ポスターを近隣施設に掲示してもらうための交渉
- ③ ライオンケミカルの蚊取り線香 CM 動画の制作
- ④ 販売イベントブースに設置するPOPやポスターの制作
- ⑤ 購入者に実施するアンケート制作
- ⑥ 販売イベント時に生徒らが身につけるタスキの制作



中学生が制作したポスターとCM動画



■いざ、蚊取り線香 PR 作戦・販売にチャレンジ



緊張しながらも声を出して呼び込み



線香それぞれの特徴をお客様に説明



お金のやりとりも生徒たちが行う

生徒らは一致団結するため、お揃いのタスキを装着し、売り場への呼び込みから接客、お会計、アンケート調査に挑戦。販売したのは、ライオンケミカルの蚊取り線香6種類と虫よけスプレーの全15アイテムです。

接客では、これまでに行ってきた販促活動準備の中で商品の特徴を学んできたことを活かして、「屋内で使うなら、燃焼終了後も殺虫効果が持続するこの商品がおすすめです。」などとお客様にご案内。お会計では、お金の扱いに加えて領収書発行といった精算対応の一連の流れを体験。購入してくれたお客様を対象にしたアンケートも実施し、買い物の目的や普段使っている虫よけ剤、今後販売してほしい商品などを聴き取り、市場調査を行いました。

入店されるお客様ひとりひとりにあいさつとイベントの呼び込みを行い、ブースは常に活気づいていました。また、生徒らが作成したPOPやポスター、CM動画を上映するモニターの前には多くのお客様が立ち止まり、出来栄や内容について感心されている様子でした。

結果的に、イベントは大成功。60名以上のお客様が商品を購入され、約8万円の売上に繋がりました。目標していた想定以上の売上となり、参加した生徒らは達成感で満ち溢れていました。



市場調査アンケートを実施

■「有田市を誇りに思う」「将来に役立つ経験になった」生徒らの感想

このライオンケミカルとのコラボプロジェクトには、18人の生徒が参加。次のような声をイベント終了後の報告会や感想文の中で挙げてくれました。

- ・自分でPRした商品が売れて嬉しいです。和歌山で作られた蚊取り線香が人気なのは凄いと思います。
- ・蚊取り線香にはいっぱい種類があり、凄いと思います。蚊取り線香が日本で初めて作られた有田市を誇りに思います。今回の機会を通して、将来販売の仕事に就きたいなと思いました。
- ・めったにできない経験ができてよかった。有田市を少しでも盛り上げる事ができて嬉しかった。
- ・もっと外でたくさん呼びかけたり、店内でもしっかりとお客様に声をかけたらもっと買ってもらえるのではないかなと思った。
- ・CM 動画などを作ってきて、役に立ってよかった。普通ではできないことを体験させてもらって嬉しかったです。
- ・店舗販売を通して、仕事には協力がとても大切だと実感した。多くの作業を分担してそれぞれに助け合うことができた。
- ・知らない人と関わったり、商品を推薦することで、人と関わる能力がついたと思います。また、自分から積極的に取り組む力や、協力する力も養われたと思います。販売や接客など、とてもやりがいのあることができて、将来にも役立つと思いました。

■有田市の未来を託す子供たちのために、多様な学びを提供する企業であり続ける



生徒との密なコミュニケーションが互いの信頼を生む



箕島駅前に設置した線香 PR 看板

学校統合前だったプロジェクト開始の頃は、参加した生徒たちもお互いをよく知らない状況であり、外部の企業との活動ということで、生徒のほとんどが、自分の意見も出せないような消極的な様子でした。しかし、イベント開催が近づくにつれ、「わたしがやります」など主体的で活発な動きが見られるようになりました。また、準備期間は前に出るタイプではなかった生徒も、イベント当日はお客様に積極的に声をかけていくなど、新たな可能性の発見になったのではないかと考えます。

2年間でおおよそ15回にわたる授業の中で、同社は、生徒らとコミュニケーションを密にとり、それぞれの声に耳を傾けること、同じ方向に向かって、それぞれが役割をもって動くことを大切に、プラン実現可能に向けて取り組んできました。準備期間に、生徒らに熱量をもって向き合ってきたことがイベント成功に繋がったのではないかと実感しています。

また、このプロジェクト開始にあたり、有田市が蚊取り線香の発祥の地であり、有田市を拠点にして一大産地として名を馳せていたという歴史を学ぶ時間を設けました。その事実を知らない生徒がほとんどで、ライフスタイルの変化で、蚊取り線香に馴染みが薄い若者に昔から愛用され続けている商品の魅力を見つめ直してもらい、同時に、地元の特産品を知り、地元に関する関心と誇りをもつきっかけに繋がったのではないかと考えます。

イベント終了後の授業では、売上報告会と販売にかかるお金の教育を実施。世の中の仕組みを理解してもらい、ただ販売体験に参加するだけで終わらない、今後未来を背負う子供たちの将来に活かしてもらえるように、想いを詰め込んだ授業を目指し、取り組んできました。

この取り組みを通して、「楽しかった」「嬉しかった」だけでなく、地元を誇りに思う気持ちや、「販売の仕事に就きたい」と将来を考えるきっかけになったことを喜ばしく思います。また、まだまだ改善できるところがあったと考える生徒が多かったことなど、今後の彼らの更なる成長に繋がる機会になったと感じています。



小学生に蚊取り線香の歴史を伝える



製造業の面白さを高校生にレクチャー

ライオンケミカルでは、今回のプロジェクト参画だけでなく、以前から地域の小学生など子供たちに向けた工場見学や製造業で働く意義を伝える取り組みの協力を行ったり、地域の駅に『ようこそ かとり線香発祥の地 有田市へ』という看板を設置するなど、地域貢献活動に積極的に取り組んでいます。

今後も、地域の伝統文化を守り、社会の創り手を育成する教育の場を提供することで、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

※今回のプロジェクトで売り上げた金額は、全額有和中学校に寄付いたしました。

【会社概要】

会社名 : ライオンケミカル株式会社
代表取締役社長 : 田中 源悟
本社所在地 : 〒649-0311 和歌山県有田市辻堂 1 番地 1
URL : <https://www.lionchemical.jp/>
創業 : 明治 18 年 4 月
創立 : 昭和 14 年 4 月
資本金 : 1 億円
従業員数 : 290 名
事業内容 : かとり線香をはじめとする家庭用殺虫剤、及び日用品(洗浄剤・芳香消臭剤・浴用剤など)の製造

本件に関するお問い合わせ先

ライオンケミカル株式会社 総務部 業務グループ 主任 宮崎敦司

TEL:0737-22-6900 FAX:0737-82-3214

E-mail:at-miyazaki@lionchemical.jp